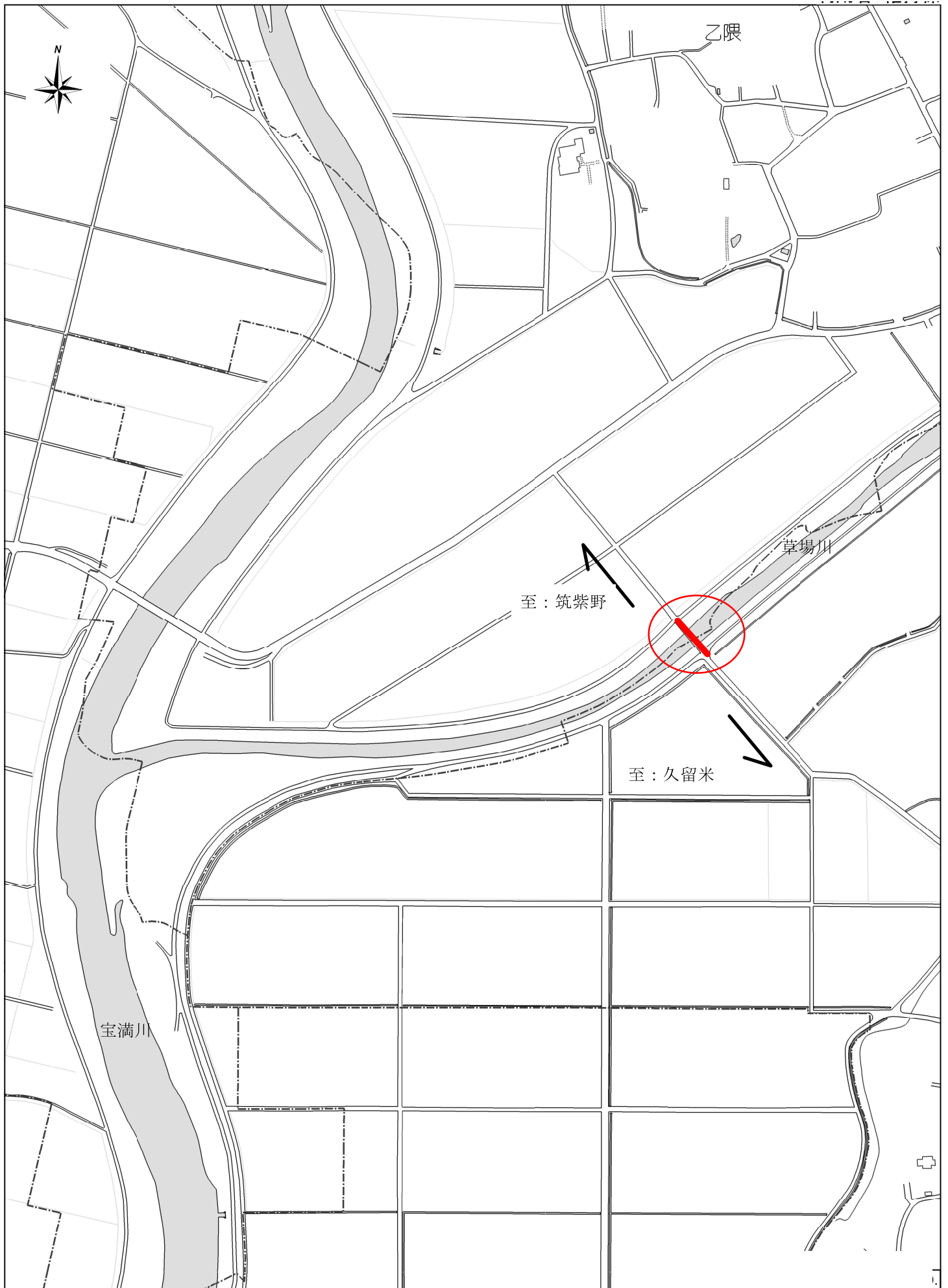


位置図



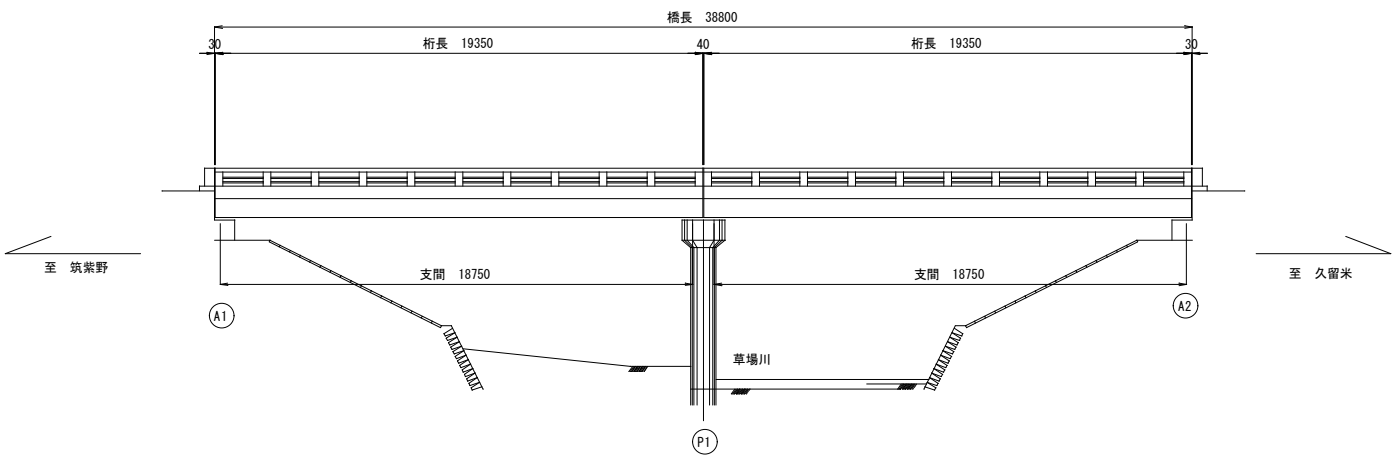
小郡市乙隈付近

縮尺 1 / 5,000

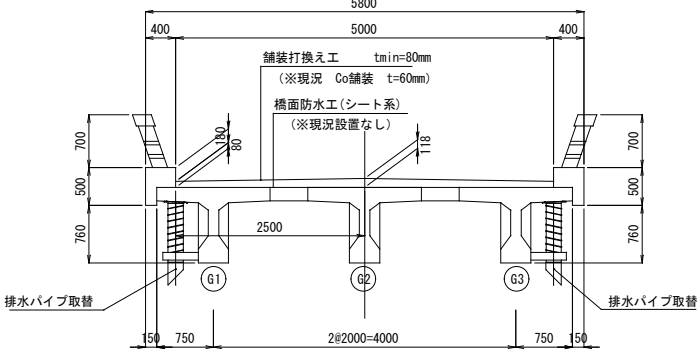
150m

境橋 補修計画一般図

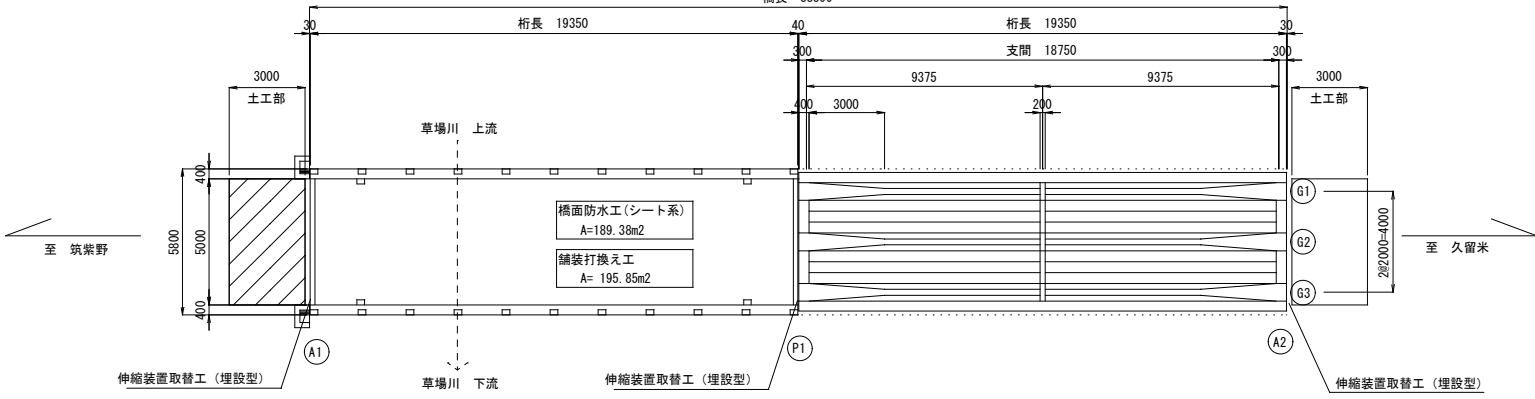
側面図 S=1:150



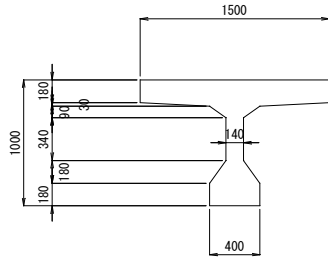
断面図 S=1:50



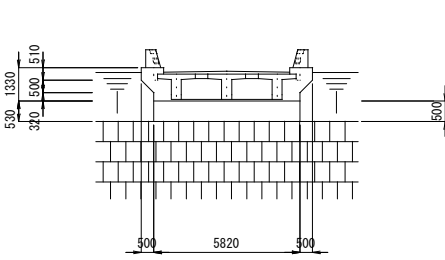
平面図 S=1:150



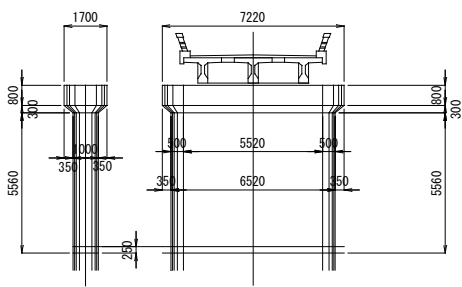
主桁面図 S=1:30



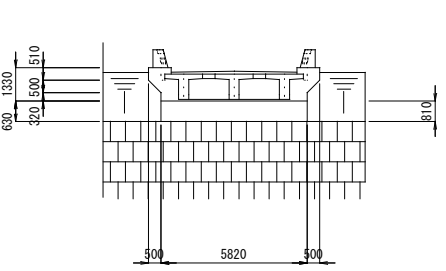
A1 橋台 S=1:150



P1 橋脚 S=1:150



A2 橋台 S=1:150



部 材	補修工法・材料
上部工	主桁
横桁	断面修復工 (ポリマーセメントモルタル)
	ひびわれ注入工 (エポキシ樹脂3種)
	ひびわれ充填工 (シーラント系)
	断面修復工 (ポリマーセメントモルタル)
下部工	A1橋台
橋脚	断面修復工 (ポリマーセメントモルタル)
A2橋台	断面修復工 (ポリマーセメントモルタル)
橋面	路面
地覆	舗装打換え工(車道部 tmin=80mm)
伸縮部	橋面防水工(シート系)
排水装置	断面修復工 (ポリマーセメントモルタル)
	伸縮装置取替工(埋設型)
	排水パイプ取替

縮小図面 原図A1			
工事年度	令和5年度		
工事名	境橋補修工事		
路線名	乙限・吹上6号	(特) 筋	境橋
工事箇所	小都市 乙限 地内		
図面名	境橋 補修計画一般図		
縮尺	図示	図面番号	1 / 8
事務所名	小都市役所		
認 可	☐ 当初 ☐ 第 回変更	実 施 ☒ 当初 ☐ 第 回変更	☐ 査 定 ☐

境橋 補修図 (その1) S=1:100

地覆 高欄・防護柵

損傷凡例

損傷の種類	表 示
ひびわれ	0.2mm未満
	0.2~0.5mm未満
	0.5mm以上
剥離	
鉄筋露出	
うき	
遊離石灰	
漏水	
その他	

左側(上流側) 外側

左側(上流側) 内側

A1-P1地覆 高欄・防護柵
断面修復工 (剥離・鉄筋露出)

番号	L(m)	W(m)	面積(m2)
1	0.15	0.15	0.023
2	0.10	0.10	0.010
3	0.15	0.10	0.015
4	0.10	0.10	0.010
合計			0.058

P1-A2地覆 高欄・防護柵
断面修復工 (剥離・鉄筋露出)

番号	L(m)	W(m)	面積(m2)
19	0.10	0.15	0.015
20	0.10	0.10	0.010
21	0.10	0.10	0.010
22	0.10	0.10	0.010
23	0.15	0.10	0.015
24	0.10	0.10	0.010
25	0.10	0.20	0.020
26	0.20	0.15	0.030
合計			0.120

右側(下流側) 内側

右側(下流側) 外側

縮小図面 原図A1

工事年度	令和5年度		
工 事 名	境橋補修工事		
路 線 名	乙隈・吹上6号	(総) 筋	境橋
工事箇所	小郡市 乙隈 地内		
図 面 名	境橋 補修図 (その1)		
縮 尺	図示	図面番号	2 / 8
事務所名	小 郡 市 役 所		
認 可	☐ 当初 ☐ 第 回変更	実 施	☒ 当初 ☐ 第 回変更 ☐ 査 定 ☐

A1-P1桁下面 断面修復工（剥離・鉄筋露出等）			
番号	L(m)	W(m)	面積 (m2)
5	0.10	0.10	0.010
6	0.10	0.10	0.010
7	0.10	0.10	0.010
8	0.10	0.10	0.010
9	0.10	0.10	0.010
10	0.10	0.10	0.010
11	0.20	0.20	0.040
12	0.10	0.10	0.010
13	0.10	0.10	0.010
14	0.20	0.20	0.040
15	0.10	0.10	0.010
16	0.10	0.10	0.010
17	0.20	0.10	0.020
18	0.15	0.35	0.053
合計			0.253

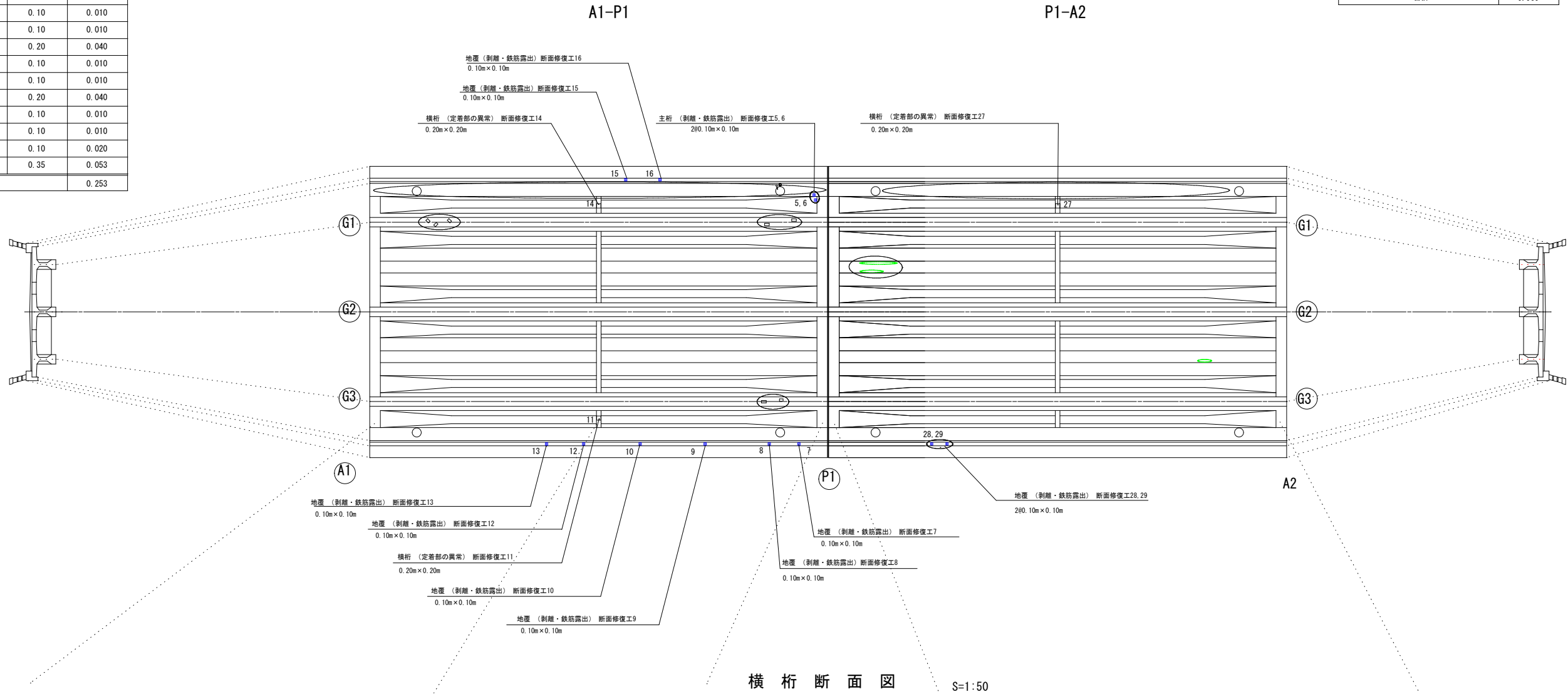
A1-P1桁下面 ひびわれ充填工		
番号	W(mm)	L(m)
①	2.00	0.10
合計		0.10

境橋 補修図（その2）

桁 下 面 展 開 図 S=Free

P1-A2桁下面 断面修復工（剥離・鉄筋露出等）			
番号	L(m)	W(m)	面積 (m2)
27	0.20	0.20	0.040
28	0.10	0.10	0.010
29	0.10	0.10	0.010
合計			0.060

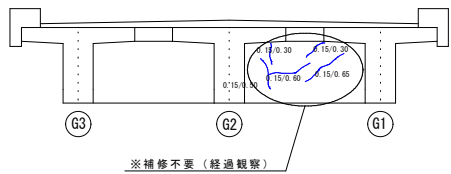
P1-A2桁下面 ひびわれ注入工		
番号	W(mm)	L(m)
1	0.30	0.50
2	0.30	0.90
3	0.20	0.50
4	0.20	0.50
5	0.20	0.60
6	0.20	0.45
7	0.25	0.60
8	0.40	0.50
9	0.25	0.90
10	0.30	0.65
11	0.20	0.30
12	0.25	0.35
13	0.20	0.25
14	0.50	1.60
合計		8.60



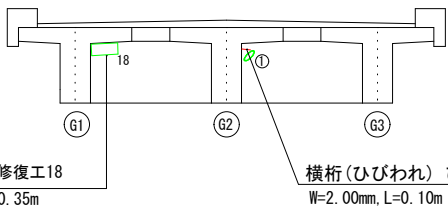
損傷凡例

損傷の種類	表 示
ひびわれ	0.2mm未満
ひびわれ	0.2~0.5mm未満
ひびわれ	0.5mm以上
剥離	
鉄筋露出	
うき	
遊離石灰	
漏水	
その他	

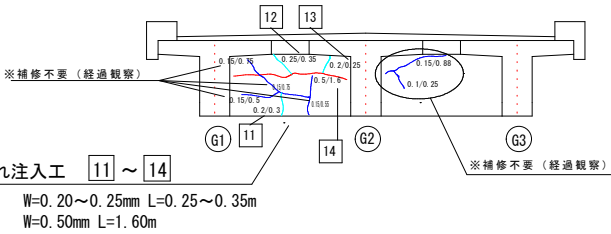
A1上横桁



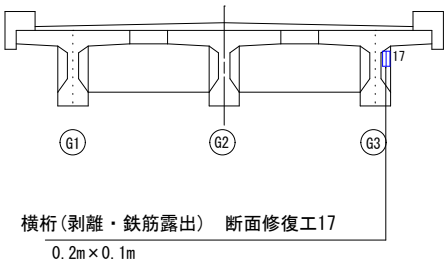
P1上横桁（A1側から望む）



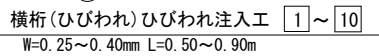
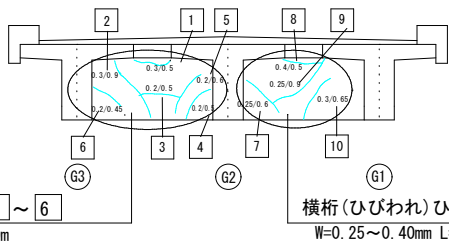
A2上横桁



中間横桁（A1側から望む）



P1上横桁（A2側から望む）

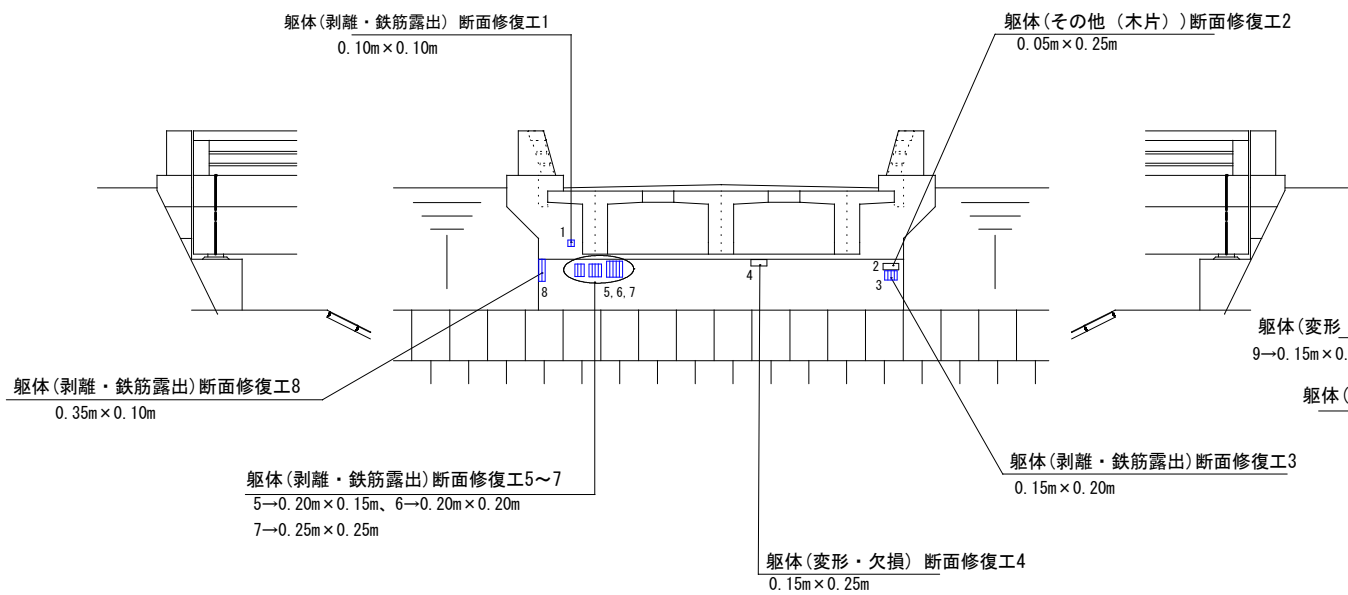


縮小図面 原図A1

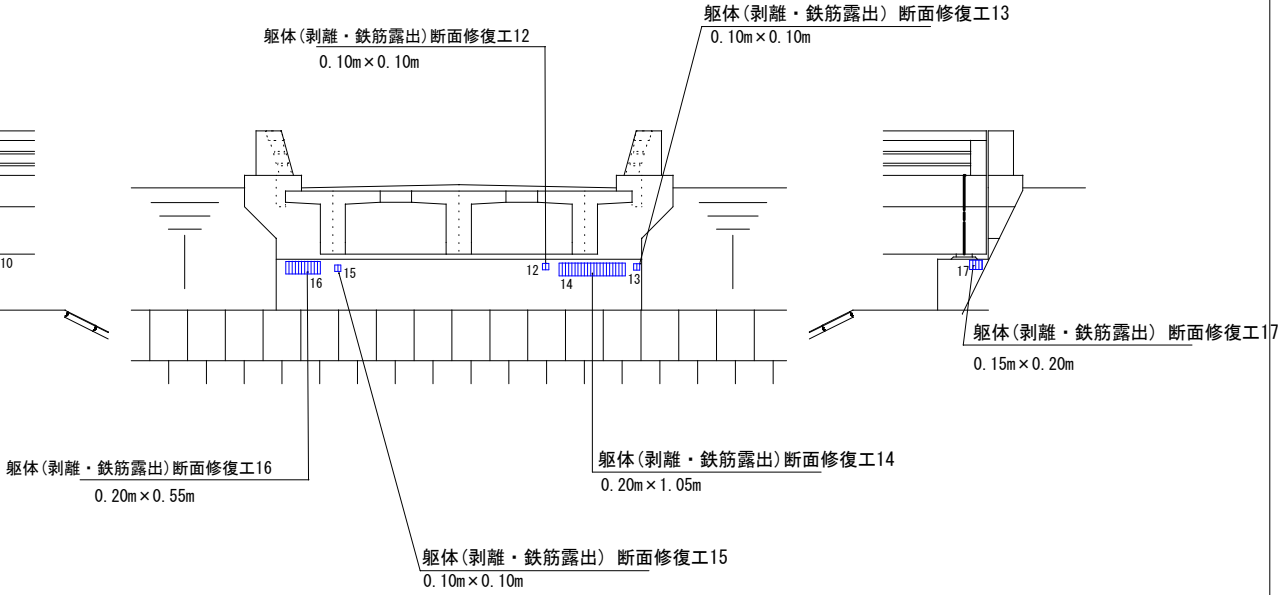
工事年度	令和5年度		
工 事 名	境橋補修工事		
路 線 名	乙隈・吹上6号 (総) 境橋		
工事箇所	小都市 乙隈 地内		
図 面 名	境橋 補修図（その2）		
縮 尺	図示	図面番号	3 / 8
事務所名	小 郡 市 役 所		
認 可	当 初	実 施	当 初
	第 回変更		第 回変更
			査 定

境橋 補修図（その3） S=1:60

A1 橋 台



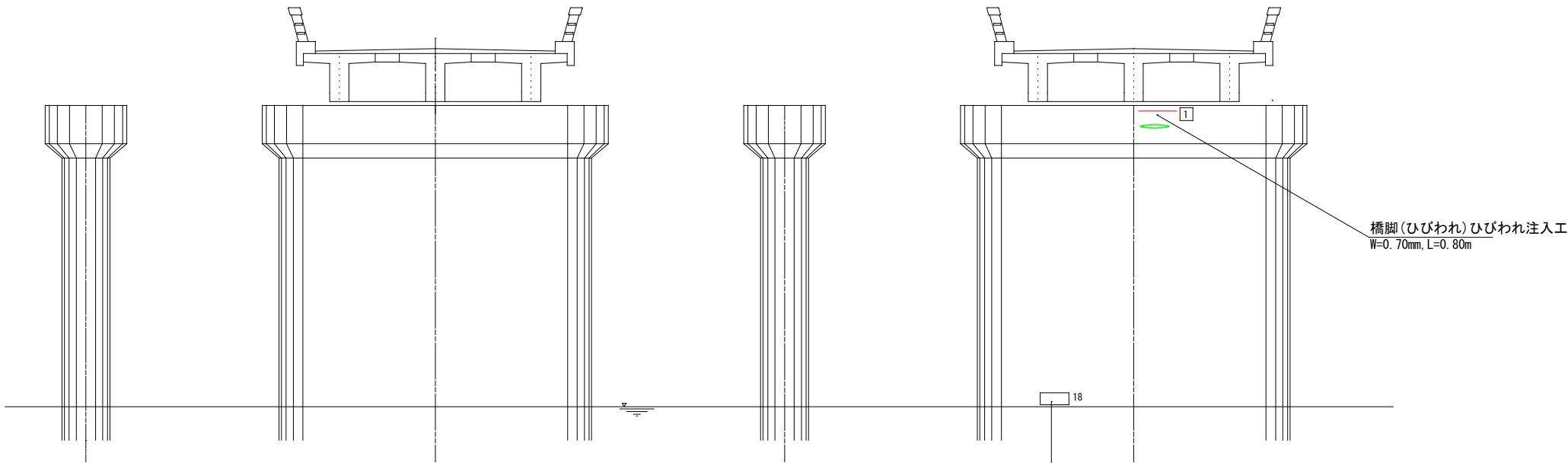
A2 橋 台



P1 橋 脚

起点側

終点側



損傷凡例

損傷の種類	表 示
ひびわれ	0.2mm未満
ひびわれ	0.2~0.5mm
ひびわれ	0.5mm以上
剥離	
鉄筋露出	
うき	
遊離石灰	
漏水	
その他	

A1橋台 断面修復工 (剥離・鉄筋露出等)			
番号	L(m)	W(m)	面積(m2)
1	0.10	0.10	0.010
2	0.05	0.25	0.013
3	0.15	0.20	0.030
4	0.15	0.25	0.038
5	0.20	0.15	0.030
6	0.20	0.20	0.040
7	0.25	0.25	0.063
8	0.35	0.10	0.035
合計			0.259

A2橋台 断面修復工 (剥離・鉄筋露出等)			
番号	L(m)	W(m)	面積(m2)
9	0.15	0.15	0.023
10	0.10	0.30	0.030
11	0.15	0.15	0.023
12	0.10	0.10	0.010
13	0.10	0.10	0.010
14	0.20	1.05	0.210
15	0.10	0.10	0.010
16	0.20	0.55	0.110
17	0.15	0.20	0.030
合計			0.456

P1橋脚 断面修復工 (豆板)			
番号	L(m)	W(m)	面積(m2)
18	0.25	0.60	0.150
合計			0.150

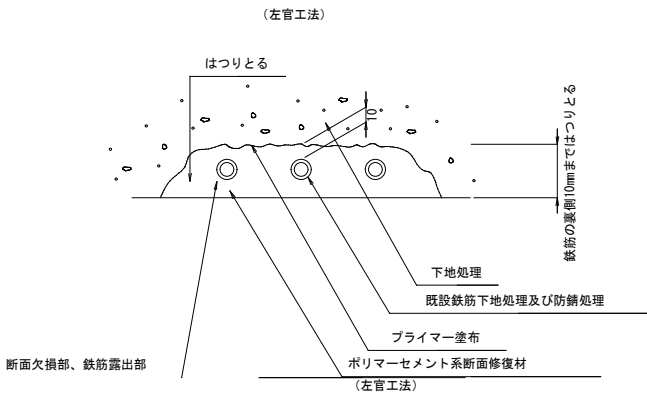
P1橋脚 ひびわれ注入工		
番号	W(mm)	L(m)
1	0.70	0.80
合計		0.80

縮小図面 原図A1

工事年度	令和5年度		
工 事 名	境橋補修工事		
路 線 名	乙隈・吹上6号 (総) 境橋		
工事箇所	小郡市 乙隈 地内		
図 面 名	境橋 補修図 (その3)		
縮 尺	図示	図面番号	4 / 8
事務所名	小 郡 市 役 所		
認 可	☐ 当 初 ☐ 第 回変更	実 施 ☒ 当 初 ☐ 第 回変更	☐ 査 定 ☐

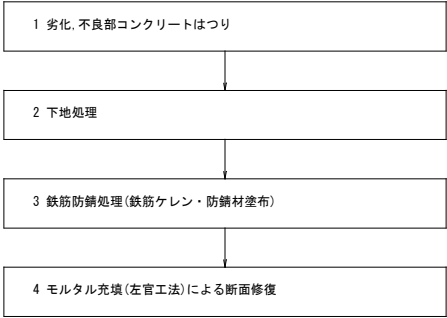
境橋 補修工法詳細図

断面修復工



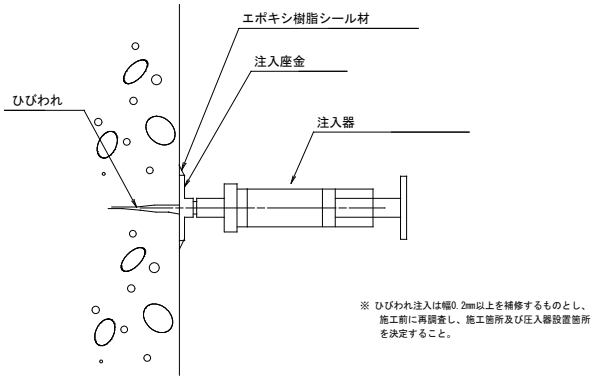
- ※ 1. 劣化、不良コンクリートのはつりは、健全部に損傷を与えないよう周囲に深さ1～2cm程度切断目地を入れ、入念に施工する。
- ※ 2. コンクリートのはつりは、発錆している鉄筋の裏側10mmまで行う。
- ※ 3. 鉄筋断面が欠損している場合は添筋すること。
- ※ 4. 断面修復後のマクロセル腐食を極力防止するため、適切な防錆処理を施すこと。
- ※ 5. 断面修復に使用するポリマーセメントモルタルとする。
- ※ 6. 上部工の主桁は、PC部材である為、PCケーブルを露出させないようにすること。

※ 施工手順 (断面修復工法)



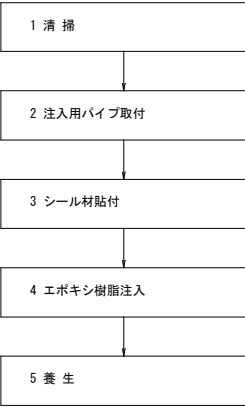
ひびわれ注入工法

(0.2mm≦t<1.0mmの場合は注入工法とする)



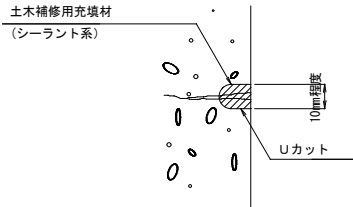
- ※ 1. エポキシ樹脂系によるひびわれ注入の対象は、ひびわれ幅0.2mm以上、1.0mm未満とする。
- ※ 2. 注入パイプに間隔は、25cm程度とする。
- ※ 3. ひびわれ注入に使用する材料は、上部工はエポキシ樹脂3種、下部工はエポキシ樹脂1種する。

※施工手順 (注入工法)



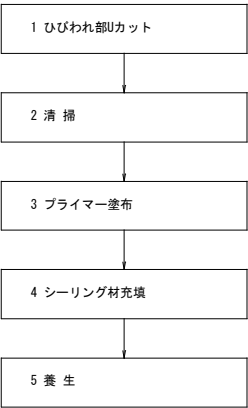
ひびわれ充填工法

(1.0mm≦tの場合は充填工法とする)



- ※ 1. 使用材料は土木補修用充填材 (シーラント系) とする。
- ※ 2. Uカットの幅は10mm程度を標準とする。
- ※ 3. ポリマーセメントによる蓋がけは実施しないものとする。

※施工手順 (充填工法)

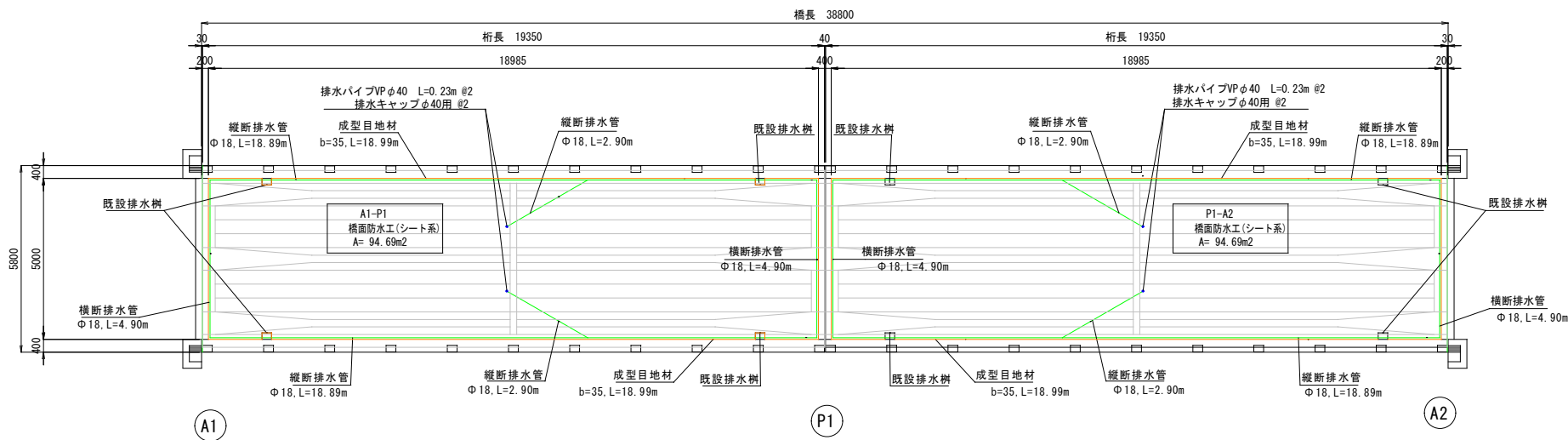


縮小図面 原図A1

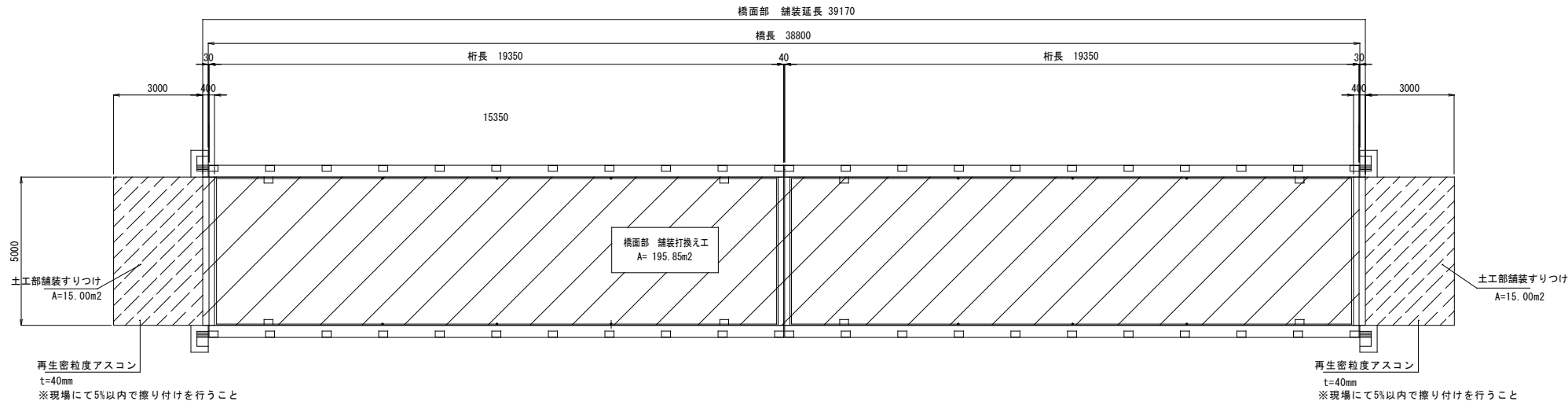
工事年度	令和5年度		
工事名	境橋補修工事		
路線名	乙限・吹上6号	(総) 筋	境橋
工事箇所	小郡市 乙限 地内		
図面名	境橋 補修工法詳細図		
縮尺	図示	図面番号	5 / 8
事務所名	小郡市役所		
認可	☐ 当初 ☐ 第 回変更	実施 ☒ 当初 ☐ 第 回変更	☐ 査定 ☐

境橋 橋面工補修詳細図（その1）

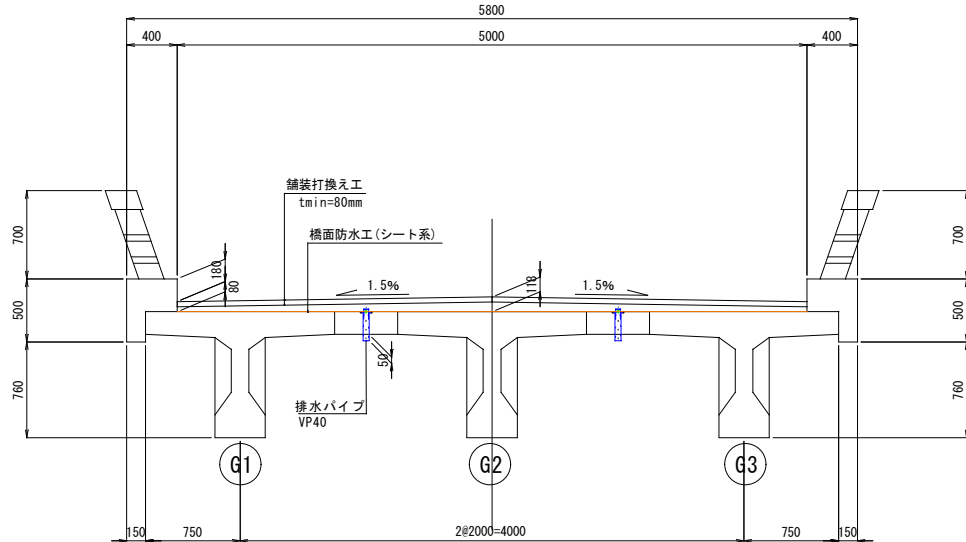
防水工平面図 S=1:100



舗装平面図 S=1:100



断面図 S=1:30



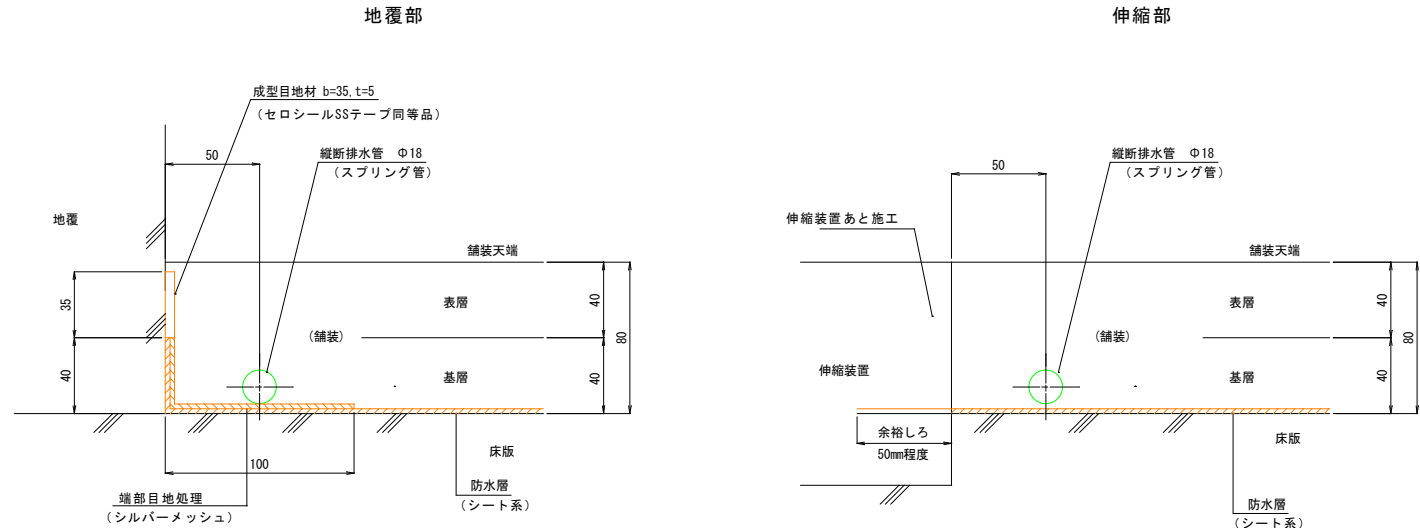
防水工材料表

名称	仕様	単位	数量	備考
防水層	シート系	m2	189.38	94.69*2
導水管	HDZ55	m	87.16	縦断方向 (18.89+2.90)*2*2
		m	19.60	横断方向 4.9*2*2
		合計	106.76	
排水キャップ	φ40用	個	4	
排水パイプ	VP40, L=230	本	4	
成型目地材	b=35, t=5	m	75.96	セロシールSSテープ同等品 18.99*4
端部目地処理	シルバーメッシュ	m	75.96	18.99*4

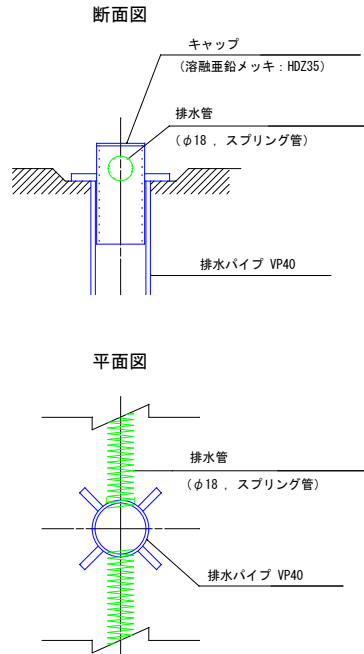
舗装工材料表

橋面部	基層	再生密粒度As 13mm
	表層	再生密粒度As 13mm
すりつけ部	表層	再生密粒度As 13mm

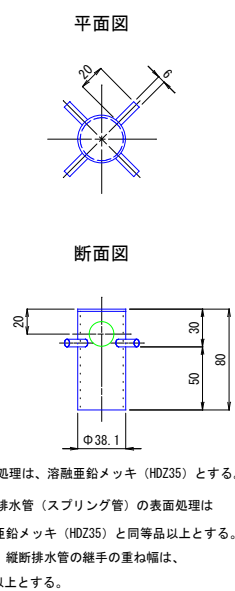
上部工断面図 S=1:2



排水キャップ詳細図 S=1:3



キャップ製品図 S=1:3



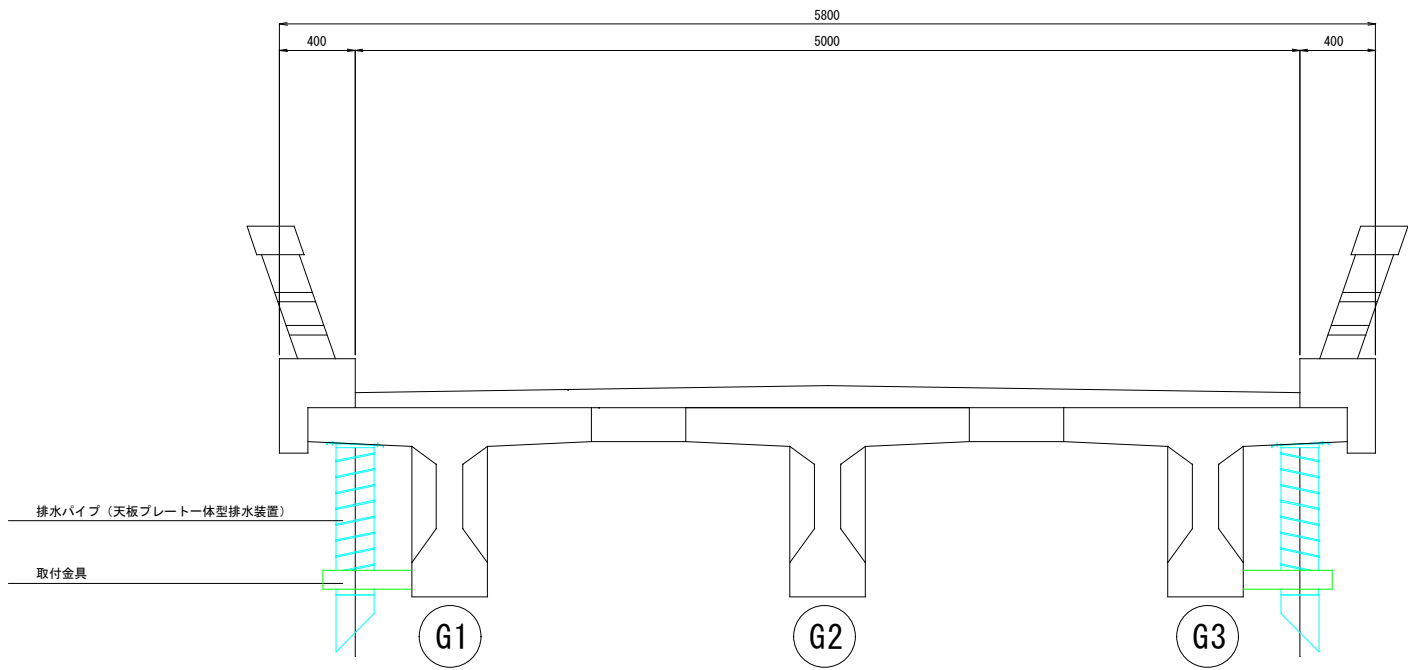
※ 表面処理は、溶融垂鉛メッキ (HDZ35) とする。
※ 縦断排水管 (スプリング管) の表面処理は
溶融垂鉛メッキ (HDZ35) と同等品以上とする。
また、縦断排水管の継手の重ね幅は、
5cm以上とする。

縮小図面 原図A1

工事年度	令和5年度		
工事名	境橋補修工事		
路線名	乙限・吹上6号	（橋筋）	境橋
工事箇所	小郡市 乙限 地内		
図面名	境橋 橋面工補修詳細図		
縮尺	図示	図面番号	6 / 8
事務所名	小郡市役所		
認可	当初 ☐ 第1回変更	実施 ☒ 当初 ☐ 第1回変更	査定 ☐

境橋 橋面工補修詳細図(その2)

断面図 S=1:20

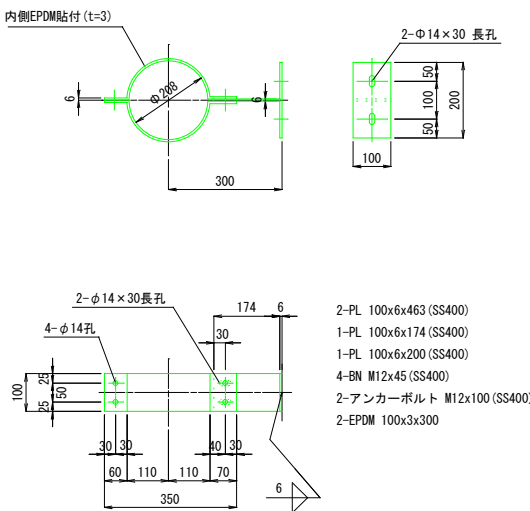
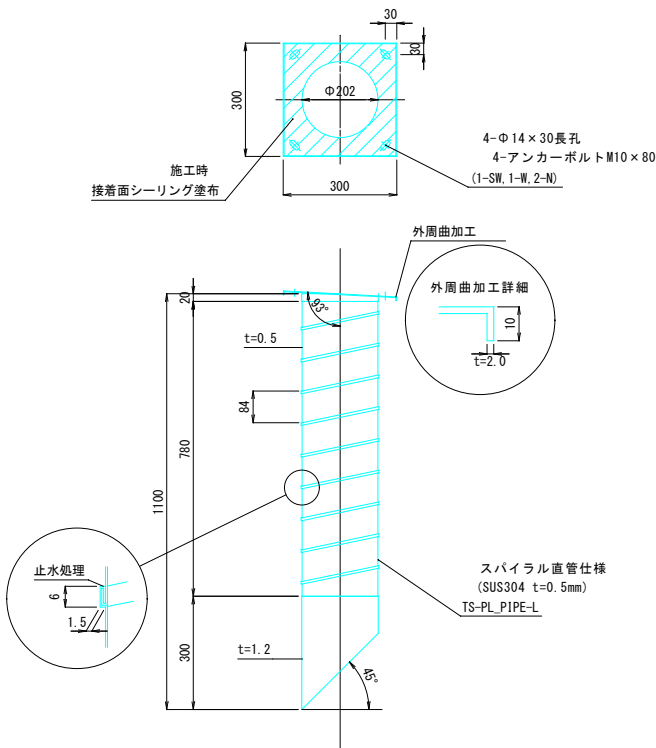


排水パイプについては、既設排水柵箇所に設置（計8箇所）

排水パイプ詳細図 S=1:10

排水パイプ（天板プレート一体型排水装置 TS-PL_PIPE-L同等品以上）

取付金具



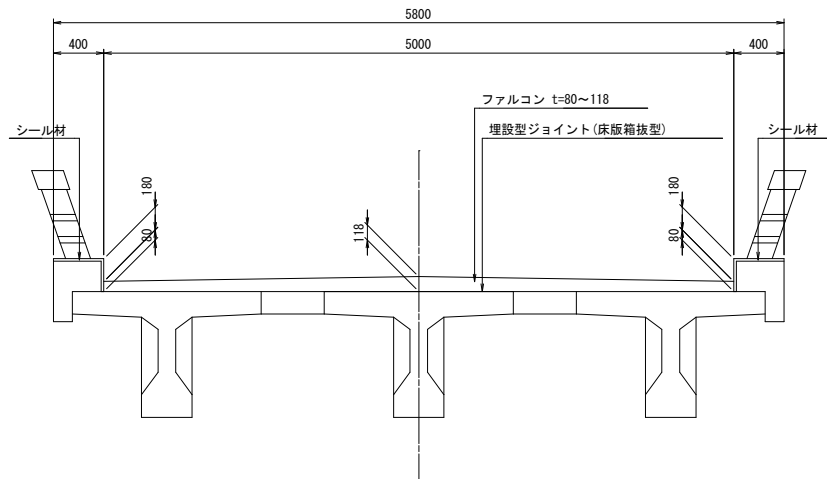
- ※特記なき材質はすべてSUS304とする。
- ※排水装置はTSステンレス排水装置に準ずる。
- ※天板プレート一体型排水装置は、NETIS No. CB-190003-Aに準ずる。
- ※SS400は全て溶接垂鉛メッキ
- (JIS H 8641 2種 HDZ55)仕上げを行う。
- 但し、ボルト類はHDZ35とする。
- ※t=2.0未満のステンレス鋼材溶接部内外面に対し耐食性向上の措置を講じる。
- ※現場調査にて寸法確定後作成する。
- ※排水装置及び取付金具を設置時には、鉄筋探査により既設主桁の鉄筋及びPCケーブルの位置を確認した上で干渉しない箇所に設置を行うこと

縮小図面 原図A1

工事年度	令和5年度		
工事名	境橋補修工事		
路線名	乙隈・吹上6号	（鉄筋）	境橋
工事箇所	小郡市 乙隈 地内		
図面名	境橋 橋面工補修詳細図(その2)		
縮尺	図示	図面番号	7 / 8
事務所名	小郡市役所		
認 可	当 初 第 回変更	実 施 当 初 第 回変更	査 定 第 回変更

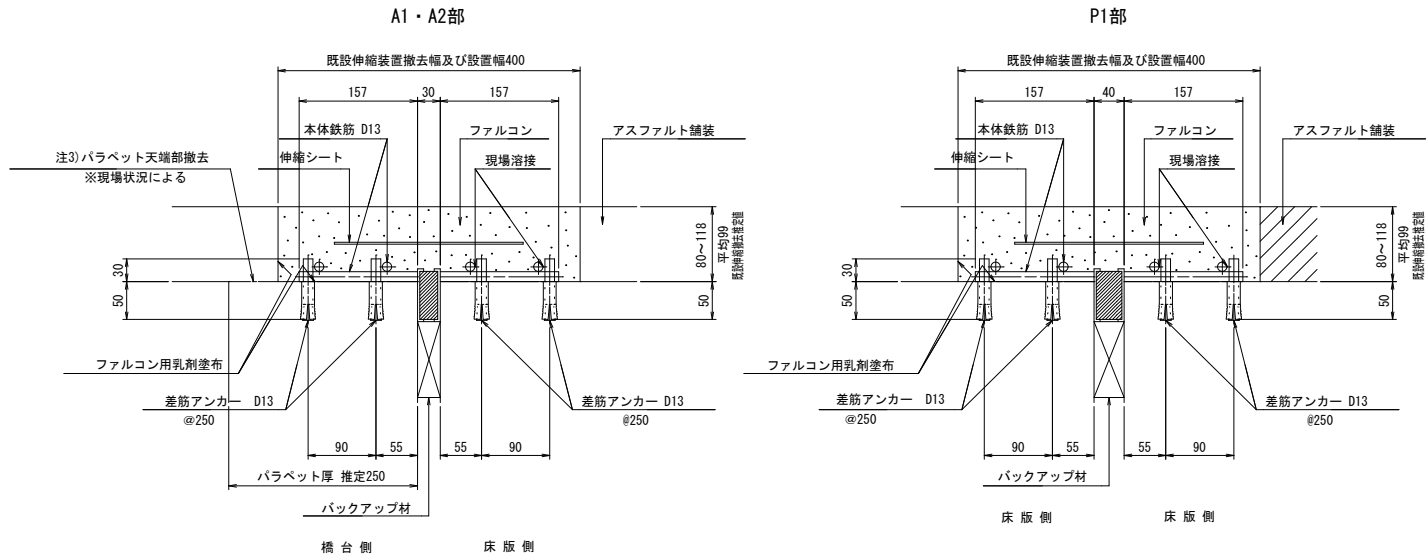
境橋 伸縮装置補修図

断面図 S=1:30

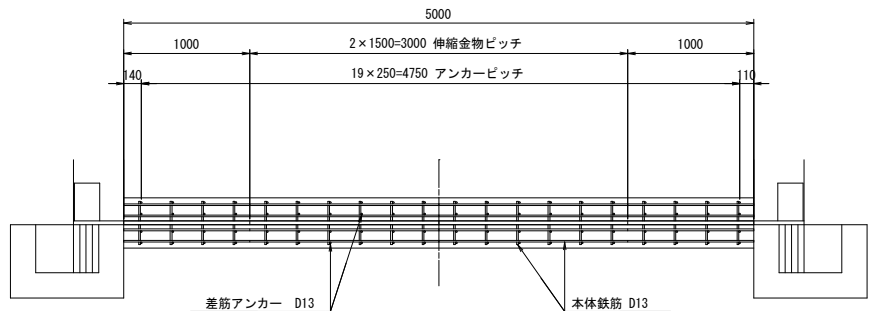


伸縮装置取付断面図 S=1:5

シームレスジョイントSJ-M 同等品以上

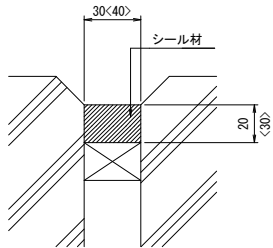


部材平面図及びアンカー筋配筋図 S=1:30



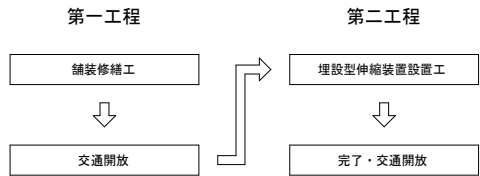
- 注1) 仕様・諸寸法・適応の可否は、現地再調査及び照査の上、決定のこと。
- 注2) 伸縮装置箱抜部については、必要に応じて超速硬無収縮モルタル等にて補修及び不陸調整を行うこと。
- 注3) 現場状況に応じてパラベット天端部のアスファルト厚が確保できるように撤去すること。
- 注4) パラベット天端撤去の際に、鉄筋等が露出した場合には、必要に応じて防錆処理を行うこと。
(但し、埋設ジョイント設置する範囲に鉄筋が露出した場合は、埋設ジョイントに防錆効果がある為、防錆処理は不要。)
- 注5) 既設伸縮装置は、ゴムジョイントを想定。
- 注6) アンカーを打ち込む際は、鉄筋探査を行い鉄筋に当たらないように注意すること。

シーリング材充填図 S=1:2



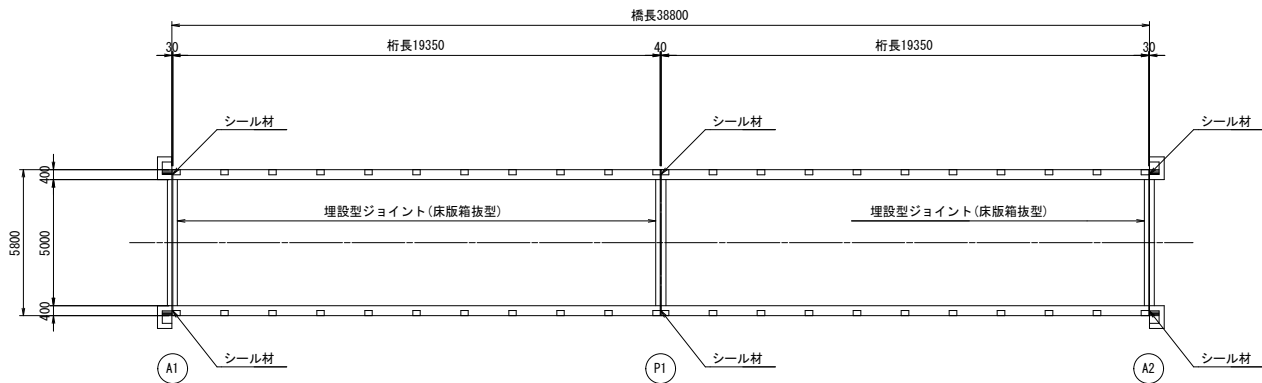
注) < >内はP1部を示す。

施工フロー



注) 既設伸縮装置及びパラベット天端部の撤去が必要な場合は、舗装修繕時に施工のこと。

配置図 S=1:150



数量表（設置） シームレスジョイントSJ-M 同等品以上

名 称	品名又は仕様	単位	数 量	備 考
伸 縮 金 物	埋設型ジョイント(床版箱抜型)	m	15.00	本体鉄筋・伸縮シート装備
ファルコン用乳剤	ファルコンゾール	kg	4.5	
弾 性 合 材	ファ ル コ ン	m ²	0.594	
差筋アンカー	D13	本	240	

数量表（撤去及び他材料）

名 称	仕 様	単位	数 量	備 考
既設伸縮装置撤去	ゴムジョイント	m	15.00	
シー ル 材	シリコン系	L	3.5	

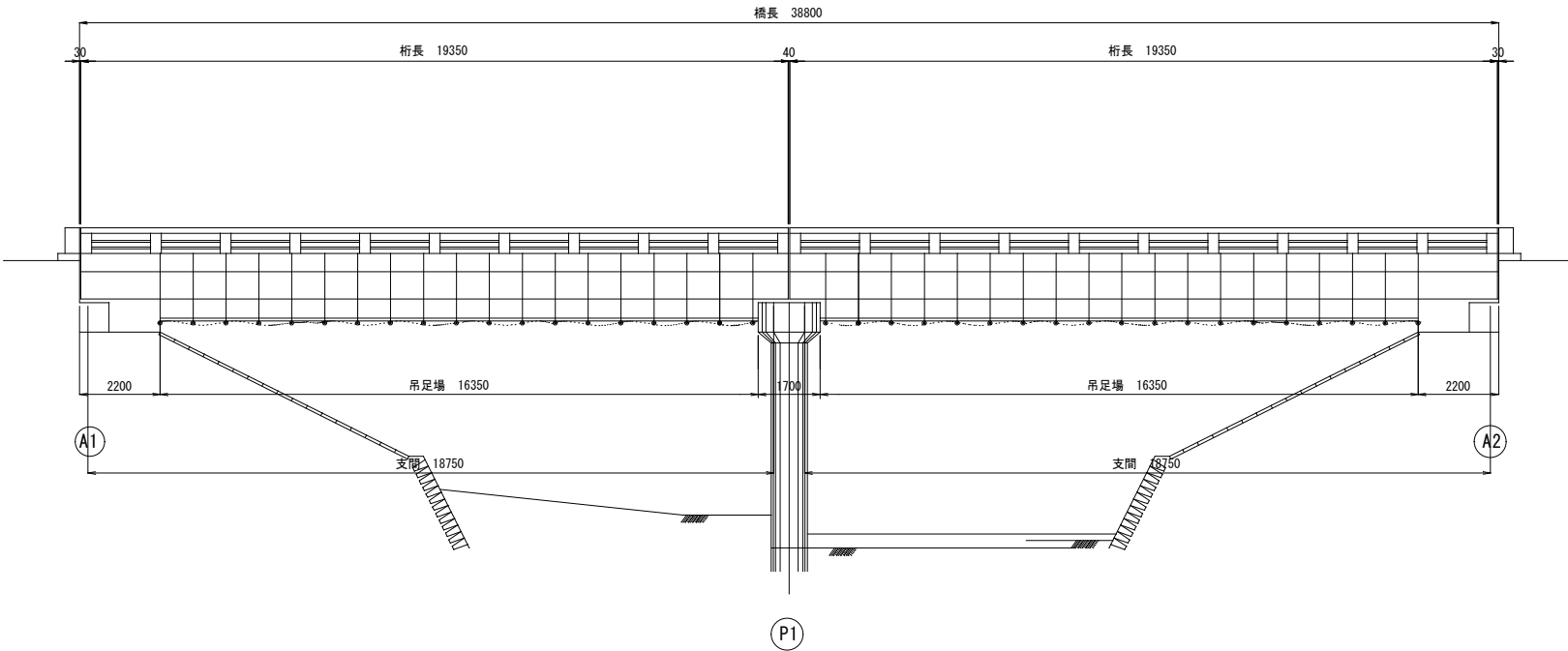
縮小図面 原図A1

工事年度	令和5年度		
工 事 名	境橋補修工事		
路 線 名	乙限・吹上6号	(他) 筋	境橋
工事箇所	小郡市 乙限 地内		
図 面 名	境橋 伸縮装置補修図		
縮 尺	図示	図面番号	8 / 8
事務所名	小 郡 市 役 所		
認 可	☐ 当 初 ☐ 第 1 回変更	実 施	☒ 当 初 ☐ 第 1 回変更
			☐ 査 定 ☐

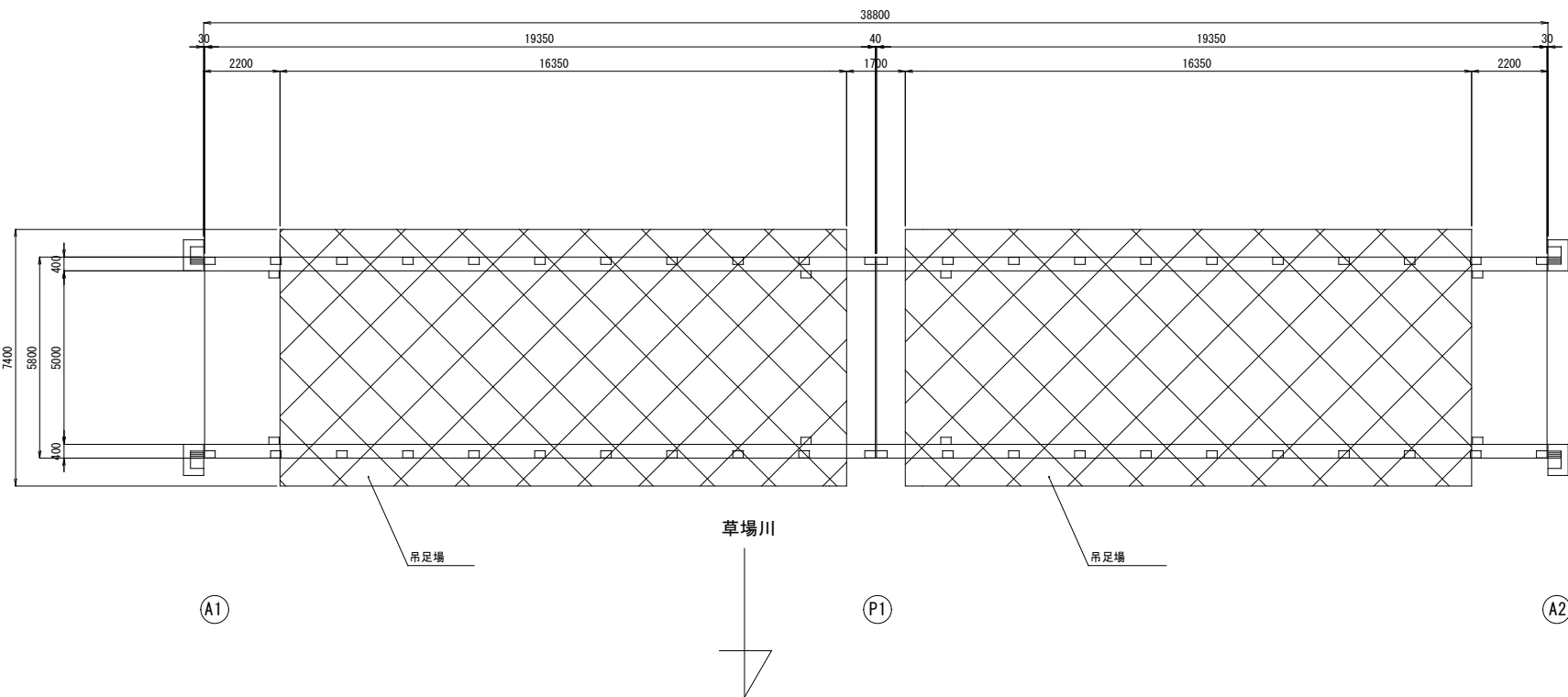
境橋 足場参考図

S=1:100

側 面 図

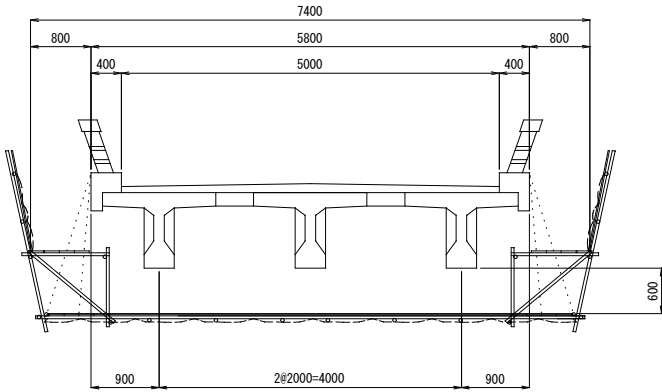


平 面 図



吊足場設置時上部工断面図

S=1:50



※ 既設部材を傷つけないようにチェーンロープ等は、しっかり養生して設置すること。
※ 吊足場高は桁下600mmを確保するものとする。
※ 足場の設置は非取水期に行うこと

縮小図面 原図A1			
工事年度	令和5年度		
工 事 名	境橋補修工事		
路 線 名	乙 限 ・ 吹上6号 (橋 筋) 境 橋		
工事箇所	小 郡 市 乙 限 地 内		
図 面 名	境 橋 足 場 参 考 図		
縮 尺	図 示	図面番号	1 / 1
事務所名	小 郡 市 役 所		
認 可	☐ 当 初 ☐ 第 回 変 更	実 施	☒ 当 初 ☐ 第 回 変 更
			☐ 査 定 ☐